

2023 年度 織田ファッション専門学校

学校関係者評価報告書

(令和 5 年度)

評価対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

織田ファッション専門学校

学校関係者評価委員会

1. はじめに

2023年（令和5年）4月1日～2024年（令和6年）3月31日を評価対象期間とした自己点検評価報告をもとに織田ファッション専門学校学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

本校が社会およびファッション業界に対して高い価値を提供すべく、より良い教育を目指すため、委員の皆様にご評価とご意見をお伺いいたしました。学校関係者評価の結果を踏まえ、学校運営の更なる改善と教育の質向上に努めて参ります。

開催日：2024年5月1日（水）15：00～16：30

会場：織田学園第8校舎 グリーンホール

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	役職等	種別
山野 晴雄	多摩地区高等学校進路指導協議会	顧問	有識者委員
内藤 久美	株式会社 辻洋裁店	パタンナー	企業等委員
松野 仁美	フリーランス	スタイリスト	卒業生

3. 自己評価に対する学校関係者評価委員の評価方法

学校より自己評価の各項目について関連資料を交えて報告と説明を行い、自己評価の評価点（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切・未実施…1）が適切か適切でないかを学校関係者評価委員3名よりそれぞれ評価をいただいた。

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

【1. 教育理念・目標・育成人材像】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
理念・目標・育成人材像は、定められているか。	4	適切 3名
学校における職業教育の特色が明確になっているか。	4	
各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	

学校の教育理念に沿った①アドミッションポリシー ②カリキュラムポリシー ③ディプロマポリシーを設定または改訂できたか。	4	
---	---	--

<ご意見・評価等>

- HP、入学案内にも教育理念・目標に基づいて学校の特色がきちんと表現されている。
- ディプロマポリシーについては、業界の初期キャリアで求められる知識や技術の習得までを明記するのが望ましい。
- 昨今の時代や社会情勢が変化するスピードは早い、そこを柔軟に捉えていく姿勢を感じた。
- HPが年度初めに更新されるたび見やすくなっている。知りたい情報にアクセスしやすいのが良い。

【2. 学校運営】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念・目標に沿った運営方針が策定されているか。	4	適切 3名
外部関係者の評価（教育課程編成委員会）を有効に活用できたか。	4	
現場経験のある教員やファッション業界で活躍中の卒業生の活用は促進できたか。	4	
外部企業等に強い外部講師等は有効に活用できたか。	4	
学生のニーズは把握できたか。	4	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	

<ご意見・評価等>

- 教育課程編成委員会の意見を参考にカリキュラムをたえず見直していくこと、企業とのコラボレーション授業を取り入れていくこと等は今後も続けていただきたい。
- 年度末の学生アンケートで、具体的な教育ニーズを把握することに努めている点を評価する。
- 外部講師や企業コラボレーションなど外部との繋がりも大切にしていると思われる。学生からのニーズにも答えていく姿勢にも積極性を感じる。

【3. 教育活動】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか。	4	適切
教育カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3名

キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	
実践的な職業教育（産学連携教育、インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	
授業評価を実施し、その評価体制はあるか。	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	
教員の研修・自己啓発は促進できたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 教育課程編成委員会の意見を参考に常にカリキュラムの改善を図っていく姿勢は評価できる。
- 年度末に学生アンケートを行い、学生のニーズを把握することに努めているのは評価できる。
- インターンシップや企業コラボレーション等、学生が実際の現場に触れる機会を作っていることがとても良いと思われる。

【4. 学修成果】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
生活支援の充実化は図れたか。	4	適切 3名
教育支援の充実化は図れたか。	4	
就職支援の充実化は図れたか。	3	

<ご意見・評価等>

- 経済的困難を抱えている学生に対する相談・支援の体制をより充実させるように努めていただきたい。
- iPadの活用はより充実させて進めてもらいたい。
- 就職の良さが重要なので、学生への就職支援は早い段階から継続的に行っていただきたい。
- 学生により状況や事情が違っていると推察されるが、柔軟に対応していると思われる。
- 前年度と比べても就職実績が上がっていることと、就職のサポート環境が整えられている点を評価する。

【5. 学生支援】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
退学率の客観的数値(前年度比較)は改善したか。	3	適切 3名
心理検査(ハイパーQU)から得られた情報は適切に活用できたか。	4	
学生のメンタルヘルス対応は積極的に取り組めたか。	4	
卒業生への支援体制はあるか。	4	
学生情報の教職員間での共有は効果的に行えたか。	4	
保護者との連携は適切だったか。	4	

<ご意見・評価等>

○保護者との連携を密にし、教員間で情報共有し、誰でも相談に乗れるようにして退学者を出来るだけ減らすよう努めてもらいたい。

○学園としてカウンセラーを置くことも検討する必要がある。

○退学率の改善は、個人により事情は異なると思うが、入学時における希望や期待、そしてその後の在学時に感じるギャップなど、在校生や卒業生の忌憚りの無い意見やディープな感想を、入学前に思い切って聞ける場を増やしても良いと考える。自身が在学していた際も同様のことを感じていた。ファッション業界でキャリアを積むことは楽しい面とそうではない面があるということを知ってもらい、心構えに繋がれば良いと考える。

【6. 教育環境】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
卒業生・在校生・学校間のネットワーク構築への取り組みについて進捗・改善は見られたか。	3	適切 3名
施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	

<ご意見・評価等>

○キャリアマップは就職活動のためのツールとして活用されているようなので、卒業生については学園の同窓会組織を作り、同窓会を通して卒業生と学校の連携を図る必要がある。

○また、教育施設・設備については学生の要望も把握しながら充実させていくよう努めてもらいたい。

○防災備蓄品については学園として備蓄し、合わせて避難訓練も実施してもらいたい。

○卒業生にとって学校との繋がりは、やはり人との繋がりであるとも思われる。先生、先輩後輩等、繋がりのある人が居てくれるだけで安心感がある。長い目で見ていくと、どこまで繋がっていきけるかは課題になるのではないかと。

【7. 学生の受け入れ募集】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
数値目標(入学生数 80 名)は達成できたか。	4	適切 3名
OC 参加者の増加は達成できたか。	4	
OC からの取り込み率は向上できたか。	4	
学生募集における学校の訴求ポイントについて広報と協議の上で決められたか。	4	
広報物の訴求の一貫性を図れたか。	4	
広報物の制作にあたり、学校と広報とで意見交換が図られたか。	4	
広報担当スタッフとの連携を強化できたか。	4	
OC 時の参加者対応スキルの向上は図れたか。	4	
OC の結果等の分析や、コース内容のブラッシュアップ等について学校と広報とで十分な意見交換ができたか。	4	
SNS 等、学校の認知 PR は適切に行えたか。	4	

<ご意見・評価等>

○HP、SNS での情報発信を工夫して行い、オープンキャンパスも学生の協力を得て実施して効果を上げているのは評価できる。

○高校訪問を定期的に行い、高校ガイダンス・模擬授業等への参加などを行い、高校教員、高校生への学園の認知を広げる努力をお願いしたい。

○留学生対応は東専各協会主催の相談会への参加、信頼できる日本語学校との連携を検討してみてもどうか。

○昨今の SNS による発信等を観ていると、とても雰囲気掴みやすい気がする。日常的な授業風景や、課題に取り組む姿など、ふとした場面も見てみたいと思った。

○SNS の更新に力を入れているように見受けられた。今後の発信も楽しみに思う。

【8. 財務】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
経営感覚の教職員間での共有は図れたか。	3	適切
財務改善への取り組みは推進できたか。	4	3名

<ご意見・評価等>

- 入学者を増やすことと退学者を減らすことに教職員が一丸となって取り組むことが求められる。
- 学校の強み、魅力を発信し、何よりもオープンキャンパス参加者を増やして学生数を確保することが望まれる。
- 修学支援新制度の適用を考えると適宜募集定員の削減を検討していく必要がある。
- どの業界も値上げの影響は避けられないが、長い目で見ていく対策は必要だと思われる。

【9. 法令等の遵守】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
コンプライアンス意識を再確認できたか。	3	適切
自己評価の結果を公開しているか	4	3名

<ご意見・評価等>

- 基本情報から自己評価、学校関係者評価、財務情報まで HP に公開されていることは適切な運営が為されていると考える。
- できれば過去3年分はアーカイブとして公開できるよう検討していただきたい。

【10. 社会貢献・地域貢献】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
地域や地方公共団体と連携し、受託等を積極的に実施しているか。	3	適切 3名

<ご意見・評価等>

- 従来から地域や自治体と連携したイベント等に参加しており、今後も積極的な参加を望みたい。
- 長い間続いている子供服販売は、引き続き頑張りたいと思う。
- 学園祭での子供服販売はとても楽しそうなイベントだと感じた。

【11. 国際交流】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
留学生受入れ、学習・生活指導等について適切な体制が整備されているか。	4	適切 3名

<ご意見・評価等>

- 留学生担当の職員がいるのは評価できる。
- N2 レベル以上の留学生の受け入れが望ましい。
- 日本人在校生にとっても、外国人留学生は色々な刺激を貰える存在だと思われる。継続的に受け入れて欲しい。

5. 総評

- 職業実践専門課程認定校として企業と連携した実践的な職業教育が行われている。今後もファッション業界のニーズに対応したカリキュラムの改善を図り、教育の充実に努めていきたい。
- 入学者の確保は重要であり、HP・SNS等での学校情報の積極的かつ効果的発信、高校訪問やキャリア教育での連携など、高校との関係を深め、学生募集への一層の努力を期待したい。
- アパレル業界の道へ進む人が全体的に減っている昨今ではあるが、織田ファッション専門学校の魅力は丁寧な指導だと思われる。入学してくれた学生たちとの縁を大切に、理念や目標等、これからも継続してほしい。
- Instagram のリールやポストを見ていると若者向けに SNS への力の入れ具合を感じる。こうしたメディアを活用して認知を高めていき、オープンキャンパスの参加者や入学者が増えることを期待する。

織田ファッション専門学校
学校関係者評価委員会